**理学療法（ＰＴ）**
病気やケガで身体に障害を持ったり、身体機能が低下した人に対し、身体機能や立ち座りや歩くといった生活に必要な基本的動作能力の回復・維持をはかるための治療を行います。

回復期・2021年入職
理学療法士

## 患者様の喜ぶ姿がやりがい

日々研鑽を積んで知識・技術を習得し、それをもとに理論を立てて理学療法を実施する。その結果、患者様の機能が回復し、ADLが良くなり、住み慣れた自宅・地域に戻っていく。無事に退院される姿を目にするのは嬉しいですね。

とは言え、全ての患者様がリハビリに前向きだとは限りません。そんな時は機能回復にこだわり過ぎず、患者様が望んでいることを聞き、願いを実現できるように取り組んでいます。コーヒーを飲みに行ったり、外の空気を吸って気分転換を図ったり。

患者様やご家族が喜んでくれることが一番のやりがいですし、この仕事をやっていて良かったなと実感する瞬間です。

## 患者様にもスタッフにも優しい

若い頃は「ケガや障害を治すにはどうしたらいいか」といったことを重要と考え、学び実践していました。ですが今は、機能が少しでも回復するにこしたことはありませんが、それよりも患者様やその家族がどんな人（人格や価値観など）で何を大事に生きているのかに気付き、そのお手伝いができたらと感じています。

3人の子どもを育てながら働いている私にとって、復帰後に時短がとれたり、有休が時間単位で使えたり、育児に対してスタッフの理解があったりすることは本当にありがたいです。当院の働くパパさんも、子育てに積極的な方が多いです。

回復期・2002年入職
理学療法士

回復期・2024年入職
理学療法士

## 患者様とのふれ合いを大切に

人に関わる仕事がしたい、人の助けになることができればと思い、理学療法士の仕事を選びました。

実際に働き始め、自分の言動1つ1つが患者様に影響を与えることに責任を感じます。私の一言で患者様が落ち込まれたり、逆に喜んでくれたり。人と関わる仕事の難しさを実感することも多いですが、患者様に元気づけられることも良くあり、やりがいを感じています。

まだ理学療法士としてスタートを切ったばかりです。今後は、職能として技術を磨くことはもちろんですが、人としても成長していきたいです。

## やりがいを力に変えて

実際に働き始め、大変だと感じることは多いですが、やりがいを実感することも多々あります。

患者様1人1人、抱える疾患や問題や社会背景などが違い、悩み考えることがほとんどです。ですが、リハビリを行い、歩行形態（歩行器から杖に、杖から独歩に）が改善されたり歩行速度が上がったりして喜ばれる患者様の姿を目にした時、やりがいを感じます。

患者様の希望をできるだけかなえられるよう、勉強するしかないですね（笑）。

回復期・2023年入職
理学療法士